



# 図書館 めくるくん通信

図書館 ☎ 69♦3706

## 図書館へ行こう～分室編3～

図書館分室は市内に7カ所あります。インターネット予約をご利用の方は、お近くの分室を受け取り場所に指定できます。

### ◆三谷公民館分室

人気は小説やエッセイ、大活字図書、料理など。子どもの利用も多い分室です。雑誌の新刊はエッセ、オレンジページ、天然生活、婦人公論、ゆうゆうがあります。

とき 毎週火・水・木・土曜日  
午後2時～5時30分

ところ 三谷公民館1階

※祝日および図書館本館の休館日は休み。



## 図書館に入った本



毎月1,000冊以上の本が入ります。  
一部をご紹介します♪

小説・エッセイ



『東京會館とわたし』上・下  
辻村深月／著 毎日新聞出版

『鳥肌が』  
穂村弘／著 PHP 研究所

料理



『旨い!家カレー』  
小宮山雄飛／著 朝日新聞出版

『サンドイッチの時間』  
渡辺有子／著 マガジンハウス

美容・ファッション



『おうちでできるヘアカット & アレンジ』  
ZACC / 監修 小学館

『60代、70代のアイテム別着こなしレシピ』  
佐藤恵子／著 ブティック社

DIY



『ホームセンターマニアがつくる  
カッコいいインテリア』  
主婦と生活社

写真集



写真集  
『ひとりじゃなかよ』  
西本喜美子／著 飛鳥新社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

## 読書の秋



# 水族館



館長 小林龍二

竹島水族館  
☎ 68♦2059

### ■寝る前に読む本

寝る前に本を読むのが私にとって結構至福のひとつだ。今年梅雨が明けてから夏が本気に暑かったので、冷たいシャワーで風呂を済ませた後に麦茶を飲んでクーラーを効かせた寝室で寝転んで本を読むのが一日のしめくくり行動となっていた。

### ■睡眠薬の変わり本

それが今では魚の本は読まなくなった。変わりに読むのは経営方面のビジネス書ばかりになった。こちらはそんなに面白いものではなく当初は、ほう。いいこと書いてあるな。優秀な企業はやっぱり

やる気と熱意に燃えていた若かりし頃は当然というか必然的というか魚の本ばかり読んでいた。昔は猛烈に魚の本の世界に突入し、

やっばり魚って面白い。ギョギョギョ。などと言っては発見と新しい知識の蓄積に興奮した。寝るのも忘れ朝まで読みふけて一夜で一冊の本を読んでいた。給料が出ると魚の本を買って、毎晩読むのが楽しみだったのう。情熱に燃えるいい時代じゃったわい。

■本は宝の宝庫  
魚の本を読んでいた頃は重要項目のページの端を折り込んで困ったときいつでもその内容が書いて

違ふな。などと感心していたが次第に、そんなことやれるならやってますよ、やれないから苦勞水族館じゃないか。わかってないな。などと本に向かって文句を言ったり、そもそも書いてあることが難しくメダカと同等の脳しかないと思える半魚人の私にとっては理解不能で、読み始めて5分で睡魔来襲、そのまま気絶睡眠、気が付いたら朝。ということが少なくない。早く寝たいときはビジネス書だ。5分読んだ内容も朝にはまったく覚えていないので同じ本が何回でも初めて読む新鮮な感覚で読める。馬鹿なかもしれない。

ある場所が分かるようにしていた。ビジネス書は蛍光マーカーで重要箇所を引く。枕に蛍光マーカーが付いてしまっているから注意しないといけない。しかもマーカーを引くと読んだ後その本を古本屋に売れない。売れないし内容も頭に入っていないし、すぐ寝るし、あまりいいことはない。すべてがそうだった本ではなく、中には参考になり宝物本になったものもある。自動車のトヨタやホンダの本は熱意が湧き上がり勉強になったし、北海道の旭山動物園の本もビジネス書感覚で読むとても参考になった。最近若いうちはあまり本を読まないらしい。すぐ寝てしまう人がいるものなんだけど、本は読んだほうがいい。